

令和 6 年 5 月 3 1 日

令和 5 年度 米子市立山陰歴史館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊 木 隆 司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団
報告者 所 在 地 米子市末広町 2 9 3 番地
代表者氏名 理事長 杉 原 弘 一 郎 ㊞

管理業務の実施状況	1 建物及び設備、備品管理など (1) 日々の目視確認を行い、管理記録を適切に記録・保管し、建物及び設備、備品の維持管理に努めた。 (2) 日常の館内外清掃及び除草作業を行い、敷地内全体が清潔に保たれるよう努めた。 (3) 男性用トイレ個室にサンタリーボックスを設置した。 (4) 雨漏り箇所に職員が防水シートや自作の排水装置を設置し対策を講じた。 (5) 展示室の蛍光灯安定器が経年劣化により故障していた箇所を職員で取替え、より見やすい展示環境とした。 2 市民サービスの向上及び運営 (1) 鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館の相互割引を実施した。 (2) 寄贈資料についての問合せに迅速に対応し、寄贈資料の記録、目録作成・登録を順次行った。 (3) 企画展開催時に図録を刊行した。 (4) 企画展開催期間中は祝日の翌日の休館日を開館日とすることで、来場者の利便性を図り利用促進に努めた。 (5) 館蔵品の貸出・利用許可等について、個人情報保護等を配慮しながらスムーズかつ迅速に対応した。 (6) 他の財団施設と連携し実施した「米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2023」では、米子歴史絵巻関連事業として米子盆踊りを体験してもらうワークショップを実施し、郷土の民俗芸能について広く知ってもらう機会とした。 (7) 弓浜緋保存会や鳥取県と共催で市内外の小学校・専門学校やインバウンドを対象とした「弓浜緋」の製作体験を実施し、伝統工芸を知ってもらう機会とした。 (8) 館蔵資料を活用し、市内商業施設と共催で「弓浜緋の歴史展」を実施し、普段、館に訪れることのない層にも郷土の伝統工芸の歴史を知ってもらう機会とした。 3 事業実施状況 別紙 2 のとおり 4 施設管理業務 別紙 1 のとおり
施設の利用状況	施設の利用状況 別紙 1 のとおり
使用料（利用料金）の収入実績	施設の収入状況 別紙 3 のとおり

管理業務の実施状況

1 施設管理業務

実施月	主な事項
4 月	電気点検、電気設備点検
5 月	玄関雨漏補修、庭木の消毒
6 月	電気点検、空調清掃
7 月	庭木の消毒、館内清掃
8 月	電気点検
9 月	2階展示室内蛍光灯安定器取替
10 月	旧庁舎電気設備法定点検、消防点検
11 月	警報設備交換
12 月	電気点検
1 月	第70回文化財防火デーに伴う消防点検
2 月	電気点検、館内清掃
3 月	消防点検、館内清掃
毎月	夜間機械警備業務、日常清掃業務

2 施設の利用状況

開館日数 308日

総入場者数 29,799人（館外企画展観覧者数含む）

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
鑑賞事業			
常設展 米子城関連資料、 米子の農家の昔の暮らし、 昭和の小学校、昔の道具、大山の歴史、 人形作家安部朱美氏制作「御幸(御輿行幸)」、鉄道関係資料、米子の人物伝、 国史跡指定記念尾高城資料常設展示 ほか	通 年	19,293	米子の近世から現代までの通史を展示した。常設展「米子の人物伝」を開催し、米子ゆかりの人物を紹介した。また、国史跡指定記念尾高城資料常設展を開催し、国史跡尾高城跡を来館者に紹介する機会とした。
【新規】米子市文化財団設立40周年記念 企画展 「見る観る魅せる！米子城展 一見て、体験して楽しむ米子城の 魅力ー」	4月1日(土) ～ 4月9日(日)	567	米子城跡の写真やジオラマ、江戸時代の絵 図を展示し、米子城の魅力を紹介した。 ※左記入館者数は本年度4月分のみ。 会期：3月4日(土)～4月9日(日) 合計観覧者数：2,000人
企画展「郷土の看板」	4月23日(日) ～ 6月11日(日)	737	郷土ゆかりの看板とその関連資料を展示し、米子の商家や米子周辺の公共施設などについて紹介した。
【新規】共催展 企画展 「令和4年度因伯山城写真コンクール 受賞作品因伯山城写真コンクール 巡回展」 主催：鳥取県埋蔵文化財センター	5月13日(土) ～ 6月19日(月)	743	鳥取県内の山城の写真や歴史を紹介した。
共催展 企画展 「第16回池田家墓所写真コンクール 作品展示」 主催：公益財団法人史跡鳥取藩主池田家 墓所保存会	6月24日(土) ～ 7月23日(日)	413	鳥取藩主池田家の歴史や墓所の写真を紹介した。
館蔵品展企画展 「資料で語る郷土の戦争 ー米子市周辺の事件と市民の暮らしー」	8月6日(日) ～ 9月3日(日)	901	山陰歴史館所蔵の資料の中から戦争関係資料を紹介した。
企画展 「レッツゴー！山陰本線 ～日本で一番長い在来線～」	9月16日(土) ～ 11月5日(日)	1,066	山陰本線が全線開通してから90年を迎えることを記念し、山陰本線全駅の写真解説や駅弁包装紙、駅の時刻表などを展示してその歴史を紹介した。
企画展 「山陰歴史館の記憶」	11月19日(日) ～ 1月21日(日)	631	山陰歴史館が旧小原家長屋門で復活開館して70年を迎えることを記念し、山陰歴史館の変遷や、旧小原家長屋門などについて紹介した。
館蔵品展 企画展 「いつもはしまっている絵図・ 地図展Ⅱ」	2月10日(土) ～ 3月31日(日)	1,310	山陰歴史館所蔵の資料の中から地図・絵図を紹介した。

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
連携事業			
米子歴史絵巻 ～受け継がれる民俗芸能～ 共催：米子市公会堂 協力：上淀白鳳の丘展示館	10月1日(日)	203	国史跡鳥取藩台場跡淀江台場跡を会場に、米子盆踊、小松谷盆踊、淀江さんこ節公演を実施した。 会場：国史跡鳥取藩台場跡淀江台場跡
アートな散歩～淀江の史跡を巡る～ 共催：米子市美術館、上淀白鳳の丘展示館	10月15日(日)	9	石馬などの米子市淀江町の文化財を巡る他、普段は非公開の國頭繁次郎作品を鑑賞するウォークを実施した。(フレイル予防事業・米子市美術館ミュージアムスクール) 開催地：上淀白鳳の丘展示館周辺史跡
史跡ガイドウォーク 1 「石州府古墳群」 共催：米子市埋蔵文化財センター、上淀白鳳の丘展示館	6月25日(日)	(21)	「石州府古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 2 「福市古墳群と青木古墳群」 共催：米子市埋蔵文化財センター、上淀白鳳の丘展示館	10月14日(土)	(18)	「福市古墳群と青木古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 3 「宗像古墳群」 共催：米子市埋蔵文化財センター、上淀白鳳の丘展示館	11月19日(日)	(29)	「宗像古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 4 「向山古墳群」 共催：米子市埋蔵文化財センター、上淀白鳳の丘展示館	3月24日(日)	(15)	「向山古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
わたを育てよう ～身近な植物とおともだちになろう～ 第4回「わたが布になるまで」 共催：米子市児童文化センター	11月23日 (木・祝)	16	米子市児童文化センターと連携し、館蔵資料を活用し事業を行った。
教育普及事業			
令和5年度新鳥取県史を学ぶ講座 「鳥取県の鉄道敷設運動 ー山陰線の開通ー」 主催：鳥取県立公文書館	9月24日(日)	29	企画展「レッツゴー！山陰本線～日本で一番長い在来線～」関連事業として山陰線開通に関わる鳥取県の鉄道敷設運動についての講演会を実施した。 会場：米子市立図書館多目的研修室 講師：鳥取県立公文書館県史活用担当石田敏紀課長補佐
学芸員とまわる山陰歴史館館内ツアー	11月29日 (水)、12月6日 (日)、 9日(土)、10日 (日)、17日 (日)、1月13日 (土)、18日 (木)、20日 (土) [計10回]	40	企画展「山陰歴史館の記憶」関連事業として、山陰歴史館(米子市役所旧館)内の非公開部を案内する館内ツアーを実施した。

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
第50回郷土の歴史教室 主催：米子錦ライオンズクラブ 共催：米子市、米子市教育委員会	12月27日(水)	39	米子市内の小学校4・5・6年生を対象に、米子駅構内見学やおおや和紙工房での紙すき体験などを実施した。 会場：米子駅構内、おおや和紙工房
財団施設連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2023 「鉄道のまち米子」写真展 ステージイベント「米子盆踊り」 ワークショップ 「米子盆踊りの手ほどき」	9月23日(土)	フェス全体 (2,045) 347	当財団が管理・受託している各施設が集まり、特色を活かしたワークショップ等を実施した。米子盆踊り関連イベントは米子市公会堂との共同企画。 会場：米子市文化ホール
民話のへや 共催：ほうき民話の会	通 年	138	地方に残る方言で語られる昔話を楽しむ機会とした。(奇数月開催) 学芸員が歴史館資料や調査資料の解説を行った。
学校・公民館対応など 出前講座・出前授業	3回	(74)	啓成小学校3年生、鳥取大学医学部付属病院院内学級、福生西小学校3年生を対象に出前授業を実施した。
体験学習受入	通 年	(564)	米子市内外の小学校9校、中学校1校、高等学校1校、大学1校の校外学習を受け入れた。
博物館実習・職場体験受入	通 年	(3)	博物館実習0件・職場体験2件/3人
【新規】 高付加価値な県内モニターツアー(西部) 主催：鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局 国際観光・万博課	11月9日(木)	21	鳥取県指定無形文化財「弓浜緋」の保持団体である弓浜緋保存会が講師となり、海外からの高付加価値旅行者を対象に機織り体験を実施した。
【新規】 令和5年度ふるさと未来創造工房 本物に触れる！ ～無形文化財保持者による子どものための制作体験～ 主催：鳥取県地域社会振興部文化財局 文化財課	11月16日(木)	20	鳥取県指定無形文化財「弓浜緋」の保持団体である弓浜緋保存会を講師に迎え、小学生が伝統工芸の制作に挑戦した。
【新規】 YMCA米子医療福祉専門学校生 「機織り体験」 主催：弓浜緋保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	11月16日(木)	14	鳥取県指定無形文化財「弓浜緋」の保持団体である弓浜緋保存会が講師となり、機織り体験を実施した。
【新規】 デンマークからの日本のアート探訪 ツアー 主催：鳥取県商工労働部兼農林水産部 市場開拓局	11月22日(水)	28	鳥取県指定無形文化財「弓浜緋」の保持団体である弓浜緋保存会が講師となり、デンマークからの観光客を対象に機織り体験を実施した。

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
資料の保存・活用事業			
調査・整理・研究・保管	通 年	-	資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。資料の目録作成を行った。
鳥取県史編さん事業 古文書解説ボランティア月例会 主催：鳥取県立博物館	通 年	114	鳥取県立博物館古文書資料解説の事業支援を行った。 会場：旧庁舎604会議室
資料貸出	通 年	-	博物館、関係機関等に資料の貸出を行った。38件/181点
情報提供事業			
【新規】米子城VR体験	4月2日(日)	-	企画展「見る観る魅せる！米子城展-見て、体験して楽しむ米子城の魅力-」の関連事業として、会場で米子城VR体験を実施した。
新甲冑お披露目 米子城武者隊演武と武者体験・ 米子城あげそげソングLIVE 協力：一般社団法人米子観光まちづくり公社	4月9日(日)	105	企画展「見る観る魅せる！米子城展-見て、体験して楽しむ米子城の魅力-」関連事業として米子城武者隊の演武やあげそげソング野外LIVE、甲冑試着体験を実施した。
Nゲージ展示運転および操作体験 協力：鉄道の街米子「米子の鉄市」実行委員会	34回	417	「鉄道の街米子」にちなみ、中国地方の鉄道車両やかつて米子市内を走っていた法勝寺電車、皆生電車の車両等のNゲージを走らせる体験コーナーを設けた。
ホームページ・Xの更新	通 年	-	歴史・資料の紹介やイベント情報の提供などを行った。
問い合わせ対応	通 年	-	米子市史などの問合せに対応し、情報の提供を行った。
【新規】 第5回弓浜緋の歴史展 主催：弓浜緋保存会 (鳥取県無形文化財保持団体)	2月28日(水) ～ 3月5日(火)	-	山陰歴史館所蔵資料を展示し、郷土の伝統工芸「弓浜緋」の歴史や情報を提供した。 会場：JU米子高島屋4階特設会場
図書等販売			
企画展図録の発行など	通 年	-	委託図書・図録・紀要などの販売を行い収入の一助とした。
受託事業			
皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務 企画展「お雛さまと天神さま」	4月1日(土) ～ 5月7日(日)	1,302	皆生温泉素鳳ふるさと館において、素鳳コレクションの展示業務を行った。 会場：皆生温泉素鳳ふるさと館 ※左記入館者数は本年度4・5月分のみ。 会期：2月5日(日)～5月7日(日) 観覧者数合計:3,673人
皆生温泉素鳳ふるさと館展示業務 企画展「春の訪れと雛人形展」	3月16日(土) ～ 3月31日(日)	1,296	皆生温泉素鳳ふるさと館において、素鳳コレクションの展示業務を行った。 会場：皆生温泉素鳳ふるさと館 ※左記入館者数は本年度3月分のみ。 会期：3月16日(土)～5月6日(月・祝)
連携・受託事業			
【新規】米子城跡三の丸番所展示 連携：米子市文化ホール	3月22日(金) ～	-	米子城跡に新たに整備された「三の丸番所」ガイダンススペースに、米子城跡の写真や城下町に関する情報をまとめたパネルを展示した。
入場者・参加者合計(人)		29,799	()の人数は除く

収入実績

項 目		収入額（円）	備 考
事業 収入	観覧料	312,250	
	冊子などの収入	9,900	
	図書等販売収入	727,300	
	図書等売捌手数料	177,737	
	資料利用料	4,200	
	負担金収入	6,972	
合 計		1,238,359	

米子市立山陰歴史館の管理業務の実施に係る収支状況（令和5年度）			
収 入（円）		支 出（円）	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	32,478,000	人件費	22,865,485
業務受託収入	900,000	館長(1人)	
事業収入	1,238,359	副館長(学芸員兼務1人)	
企画展収入	322,150	学芸員(1人)	
その他の事業収入	916,209	事務員(2人)	
		受付員(2人)	
補助金等収入	564,502	施設費	9,073,785
雑収入	5,120	旅費交通費	48,930
財団繰入金	1,261,263	通信運搬費	160,681
		手数料	124,761
		消耗品費	821,569
		修繕費	160,600
		印刷製本費	347,600
		燃料費	592,404
		光熱水料費	1,220,799
		賃借料	1,271,078
		保険料	87,950
		租税公課	2,351,600
		支払負担金	67,000
		委託費	1,719,000
		車両費	99,813
		施設事業費	2,273,974
		鑑賞事業	1,358,455
		教育普及事業	10,185
		資料整理事業	95,880
		情報提供事業	809,454
		事務局費	2,234,000
合 計	36,447,244	合 計	36,447,244